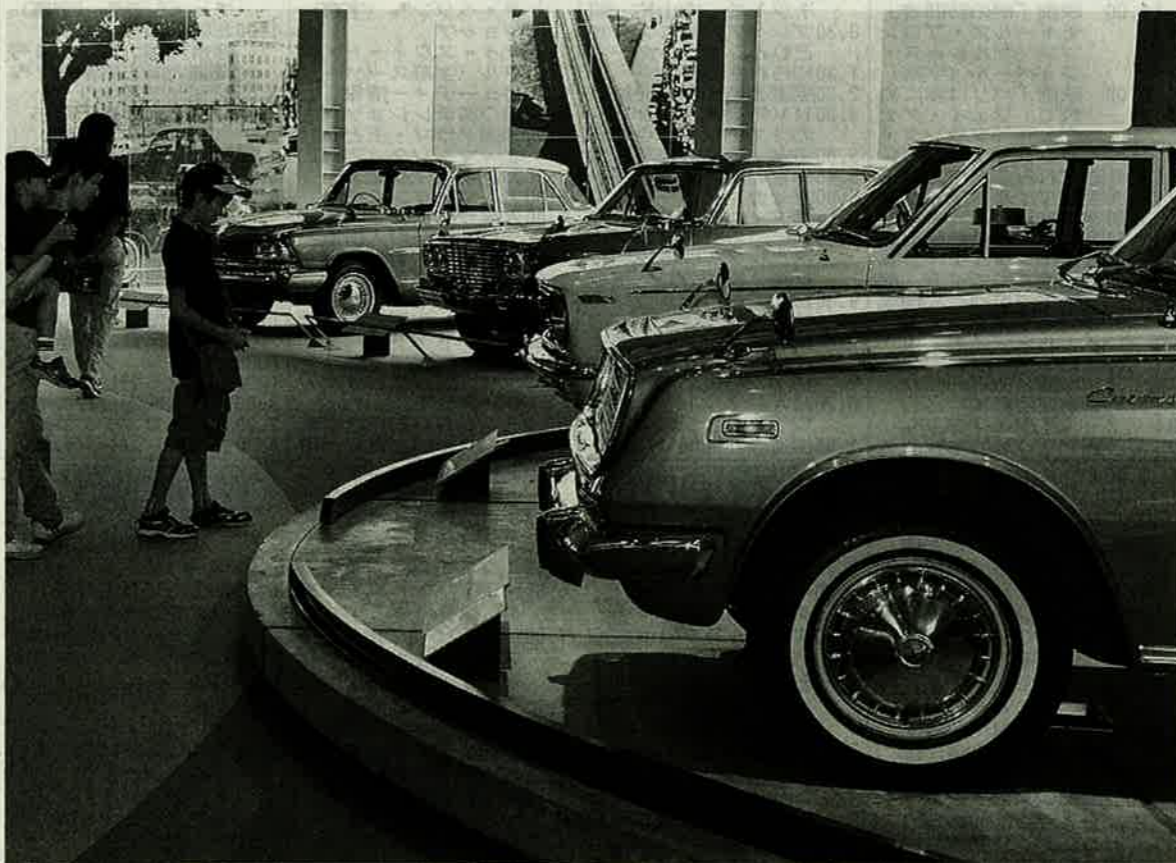


光る潜在能力引き出せ

愛知県の2009年の製造品出荷額が1977年以来、33年連続で全国一位を記録するなど、日本の製造業をけん引

産業観光

歴史・工場巡り満喫



愛知県の2009年の製造品出荷額が1977年以来、33年連続で全国一位を記録するなど、日本の製造業をけん引して来た中部地域。その厚みは想像以上に積み重ねた「産業観光」が人々を集めている。その地域で博物館や工場の現場からの発信は、新しい現場からの発信は、新現し、同グループのものづくりの精神を伝えていく。トヨタ本社に併設するトヨタ会館(愛知県豊田市)では現在発売中のクルマを展示、予約をすれば、高級セタン「クラウン」を生産する元町工場(同)などの組み立て工程を見学することができる。

高度成長期には公害で有名となった「四日市コンビナート」も、いまや産業観光の対象だ。7月から10月にかけて、初めての試み「コンビナート夜景クルーズ」が行われた。仕掛けたのは四日市観光協会。遊覧船に乗船し、無数のライトによって映し出される巨大なコンビナートの夜景を鑑賞する。折しも「工場萌え」(もえ)など工場の景観を愛する人々が増えていることもあり、盛況のうちに終えた。

名古屋商工会議所が3月に名古屋市内で実施したアンケートでは、回答者の80%が「産業観光を知っている」と回答するなど産業観光に関する認知度は定着。09年度の中部地域の主要博物館27館の入場者数をみても、408万人と5年前の345万人を大幅に上回る。産業観光は中部地域への観光客の誘致や文化形成に欠かせないコンテンツへと確実に成長し続けている。

東海旅客鉄道(JR東海)が東京-名古屋間で2027年の開業を目指すリニア中央新幹線。中部経済の潜在能力をぐっと引き出す起爆剤になり得る。東名間の移動時間は現在の半分に

リニア

首都と経済圏一つに

下、40分に短縮し地方に拠点を置く不利がほぼ解消されるためだ。JR東海が山

田佳臣社長は「東京(の経済力)を名古屋がのこるべらりの気概をもってほしい」と語り、地元経済の成長に期待を寄せる。

中部を象徴するものづくり企業が、首都圏のマーケットとより密接にコンタクトすれば、消費者が望む競争力ある製品を開発する余地が広がると見られる。

そのリニア新幹線。実現は10年以上先だが、開業準備が着々と進む。20日には焦点のルート問題が、JR東海が要望する「南アルプスルート」(直線ルート)で事実上決着した。同社のリニア建設計画を精査する国土交通相の諮問機関が、投資効果などを勘案し、長野県の一部自治体が希望する北回りのルートよりも直線ルートが優位とする試算を公表した。

リニア新幹線は、大阪延伸が完了する45年(JR東海の目標時期)まで、名古屋が東阪を往來する東海道新幹線との乗り継ぎ拠点の役割を担う。忙しい乗客に配慮して両新幹線の乗り継ぎ時間は10分程度におさまる方針。ビジネス利用だけでなく、海外からの観光客誘致にもリニアはアピールポイントになる。リニア開業は中部のサービス業に対しても大きな波及効果を生みそうだ。



走行試験を繰り返す超電導リニアモーターカー (山梨県都留市)

これにより、長野県内のルートは、南アルプスを迂回(うがひ)せずに大型トンネルを掘ってほぼ直進。東名間の所要時間、40分はJR中央線(快速)の東京-武蔵小金井間とほぼ同じだ。JR東海幹部は「これまでの日本の移動形態が激変し、首都圏と中部の経済圏が一つになる」と強調する。自動車や工作機械といった

中部を象徴するものづくり企業が、首都圏のマーケットとより密接にコンタクトすれば、消費者が望む競争力ある製品を開発する余地が広がると見られる。

「ものづくり」が盛んな愛知県は全国有数の農業県でもある。その中核地域である東三河の豊橋市で、農業とハイテク技術を融合させる先進的な取り組みが進んでいる。

農業とハイテク融合 LEDで効率栽培



豊橋市周辺の中小企業15社が今年実用化に成功したのは、発光ダイオード(LED)照明を使って食べられる花などを効率よく栽培する「植物工場」だ。

愛知県や豊橋市、中部電力やトヨタ自動車が出資する事業創出会社のサイエンス・クリエイト(愛知県豊橋市)がとりまとめ役となり、豊橋市に本社を構える温室設計の大仙、LED販

中部経済特集 — 名古屋印刷30周年 —

総合情報通信
エンジニアリング企業



C-CUBE

シーキューブ株式会社

電気通信設備・情報通信ネットワーク・コンピュータシステム

本社:名古屋市中区門前町1番51号
TEL 052-332-3000 http://www.c-cube-g.co.jp

野菜より高価で取引される「食べられる花」に栽培する(豊橋市の企業が開発した植物工場)